

令和元年度事業報告書

(令和元年9月27日から令和2年3月31日)

1. 財団について

①公益財団移行

令和元年9月27日付で公益財団法人の認定を受け、同年10月1日に公益財団として登記しました。本事業報告書では、公益財団移行後の事業期間について報告いたします。

②評議員交代

高田一氏が令和2年3月25日付で退任され、後任に大原一興氏が選任されて、同日付で就任しております。

2. 事業報告

令和元年度の事業に関し、以下のとおりご報告いたします。

1) 奨学金給付事業の実施状況

○平成31年度は、4月より募集を開始し、選考会を経て6月に10名の給付者を確定しましたが、年度採用枠に余裕がある事から令和元年10月に追加募集を行いました。

募集対象は、社会福祉士または介護福祉士の養成課程を持つ東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県内の大学、短大、専門学校に通学する学生で、専門資格取得後に介護・高齢社福祉の現場で働くことを目指す1年生および2年生となります。

○支給額は年間20万円（上半期10万円、下半期10万円）で、返済義務のない給付型となります。

○募集にあたり財団ホームページに掲示するとともに、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県内の社会福祉士または介護福祉士の養成課程を持つ学校にダイレクトメールを送付して、学生への案内と応募者へのサポートをお願いしました。

○その結果、17名の応募があり選考委員による書類選考および面接を経て、最終的に14名を給付候補者として選定し、理事会承認を経て給付対象者となりました。

（なお、合格した14名の内訳は、4年制大学生が7名、短期大学生が2名、専門学校生が5名という構成です）

○これにより、奨学生の在籍者数は28名となりましたが、令和2年3月に卒業する学生が8名含まれていることから、令和2年4月時点の奨学生は、20名となる予定です。

2) 奨学生募集事業は公募により募集し、選考会は書類選考および合格者への面接の2段階で選考しておりますが、選考会当日の運営に万全を期すため、10月より選考委員を4名から5名に増員しております。

3) 奨学生交流会の開催

第1回目となる交流会を12月8日(日)に開催し、当日は18名の奨学生に参加いただき、在宅医療をテーマとする映画の鑑賞会と学生同士の交流会を設けました。

3. 役員会等の開催に関する事項

開催年月日	区分 (開催場所)	決議事項
令和元年10月31日	みなし理事会	奨学金選考委員の選定について 議案は、承認可決される
令和元年11月19日	理事会 (財団会議室)	①平成31年度一般財団法人事業報告及び決算について ②令和2年3月期公益財団事業計画及び予算について ③令和元年度奨学生の追加募集について ④ 評議員会の開催について いずれの議案も承認可決される
令和元年12月12日	評議員会 (財団会議室)	①平成31年度一般財団法人事業報告及び決算について ②令和2年3月期公益財団法人事業計画及び予算について いずれの議案も承認可決される
令和2年3月9日	みなし理事会	①評議員会の開催について ②大原一興氏を評議員候補として推薦する件について いずれの議案も承認可決される
令和2年3月13日	理事会 (財団会議室)	①令和2年度(令和3年3月期)事業計画及び予算 ②奨学金給付規程の一部改訂について ③令和2年度奨学生の募集について ④内閣府への定期提出書類(事業計画)について いずれの議案も承認可決される
令和2年3月14日	みなし評議員会	大原一興氏を評議員として承認する件 議案は承認可決される

みなし理事会、みなし評議員会の開催日は、最終に到着した同意書の到着日とする。

以上

令和2年3月期事業報告には「一般財団及び一般財団法人に関する法律施行規則
第34条第3項に規定する附属属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が
存在しないので作成しない。

令和2年3月

公益財団法人津久井督六記念財団